

# コロナ禍の 日本経済を斬る

4月10日(日) 14時~16時  
南魚沼市民会館 多目的ホール

参加費:500円

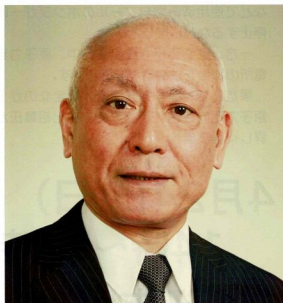
日本経済の重要問題と政策

講師:伊藤 修氏

新型コロナウイルス禍におけるサプライチェーンの混乱と、ロシアのウクライナ侵攻による原油や穀物価格の値上がりで物価上昇に歯止めがかりません。一方、4月からは公的年金が0.4%引下げられます。春闘では昨年を上回る賃金引き上げ回答を引き出していますが、物価上昇分を埋めるには至っていません。

日本政府は、多額の国債発行によりコロナ対策としての各種施策を展開してきましたが、経済の低迷にあえぐ事業者と、生活に困窮する人々に支援が行き届いているとは言えません。

日本経済の重要問題と政策について、経済の第一人者が分かりやすく解説します。



## 【プロフィール】

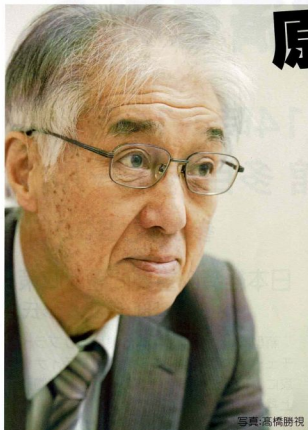
1956年長野県生まれ。東京大学経済学部卒。経済学者。埼玉大学副学長・経済学部教授を歴任

「日本型金融の歴史的構造」(東京大学出版会)で第36回エコノミスト賞。他に「日本の経済:歴史・現状・論点」(中公新書)など

明日をひらく連続講座実行委員会

実行委員長:樋口秀敏 電話:025-782-5233

# 小出裕章氏 来る！ 原発を語る



写真：高橋勝視

ロシア軍がウクライナに侵攻し、真っ先に占拠したのがチェルノブイリ原発でした。原発が戦争やテロの標的になることが全世界の知るところとなりました。3月16日深夜には福島県沖を震源とする震度6強の地震が発生。東京電力福島第一原発5号機などで使用済み燃料プールのポンプが一時的に停止するなどしました。

一方、原油価格が高騰する中、原子力発電所の稼働を求める声もあります。

果たして、原子力発電所は安全なのか？ 原子力と向き合い続けてきた小出裕章氏が詳しく語ります。

4月24日(日)  
14時～16時  
南魚沼市民会館  
大ホール  
参加費：500円

## 【プロフィール】

1949年長野県生まれ。元京都大学原子炉実験所助教、原子核物理学者

原子力の平和利用に夢を抱いて東北大学工学部原子核工学科に入学。原子力を学ぶことでその危険性に気づき、放射線被害を受ける住民の側に立ち活動

著書に「隠される原子力・核の真実－原子力の専門家が原発に反対するわけ」（創史社）、「原発のウソ」（扶桑社新書）など

明日をひらく連続講座実行委員会

実行委員長：樋口秀敏 電話：025-782-5233